

環境効率アワード2010

募集要項

主催

日本環境効率フォーラム

後援

経済産業省

日刊工業新聞社

事務局 (社) 産業環境管理協会



Eco-Efficiency
Award 2010



環境効率アワード 2010 募集要項

1. 表彰の趣旨

環境効率アワードは、環境負荷を削減させながら、社会経済活動の向上に日々取り組む企業の活動、またその活動を通じて開発された製品を表彰します。こうした考え方は、最近「環境効率 (eco-efficiency)」として、製造業を中心に、わが国の企業に定着しつつあります。環境効率の向上は、「製品もしくは企業全体の環境負荷低減に著しく貢献し、優れた経済性をもたらす」、「エコイノベーションを誘発するきっかけとなる」、「新規技術開発に結びつく」、「社員・地域・購買者の意識に影響を与えられる」等、企業競争力向上の原動力にもなります。環境効率アワードは、環境と経済の両立を実践し、他国より少ないエネルギーや資源を用い、ビジネスを強化し、日本企業の競争力を高めると同時に、環境効率による技術革新を追及することにより、わが国の産業の発展に資することをねらいとします。

昨年は、大企業のみならず、地方公共団体、中小企業など、全国から幅広い分野からの応募があり、関心の高さが伺えました。今回で6度目となった環境効率アワード2010への皆様の積極的なご応募をお待ちいたしております。

2. 募集対象

日本国内において、環境効率に取り組むあらゆる企業、団体等に参加資格があります。ただし、1企業（グループ）は下記表彰1部門に2件以上の応募はできません。複数部門に応募しても構いませんが、各部門への応募は1件までとします。従って、社内で調整の上、応募窓口を決めて重複がないようにご応募ください。

3. 表彰部門・賞の種類

(1) 表彰部門

①「製品の環境効率向上に関する事業活動部門（＝製品活動部門）」

製品の環境効率向上を目的に、内部管理・外部管理に活用するなどしたさまざまな活動であること。

②「企業の環境効率向上に関する事業活動部門（＝企業活動部門）」

企業もしくは事業所、製造ライン全体のパフォーマンスに対しての環境効率向上を目的とする活動であること。

③「普及促進部門」

環境効率の概念一般の普及を目的とした取組みを積極的に行っている団体、企業等の活動であること。

④「製品パフォーマンス部門」

著しく環境効率が向上した製品・サービスであること。

⑤「マテリアルフローコスト会計部門（＝MFCA 部門）」

マテリアルフローコスト会計の実践を通じて、企業もしくは事業所、製造ライン全体のパフォーマンス向上を目的とする活動であること。

(2) 賞の種類

- 経済産業省産業技術環境局長賞<賞状, 副賞>
環境効率向上に積極的に取り組み, その活用もしくは発展と普及に成果をあげたと認められる企業のうち, 最も優れたものを部門①~③より選定する。
- 日本環境効率フォーラム会長賞<賞状, 副賞>
①~③各部門において, 特に優れていると認められるものを選定する。
- 奨励賞<賞状, 副賞>
①~③各部門において, 優れていると認められるものを選定する。
- 審査員特別賞<賞状, 副賞>
部門④より, 特に優れていると認められるものを選定する。
- マテリアルフローコスト会計特別賞<賞状, 副賞>
部門⑤より, 特にマテリアルフローコスト会計の実践において優れていると認められるものを選定する。

(3) 対象活動期間

- ①~③ 特に問いません。(これまでに実績があるもの)
- ④ 最近2年以内に発売されたもの。
- ⑤ 特に問いません。(これまでに実績があるもの)

4. 審査基準

審査は, 以下の基本的考え方を踏まえた上で, 環境効率を活用している先進的な取り組みを選考します。

《審査にあたっての基本的考え方》※

- (1) 環境効率の運用体制が, 確実で, 明確になっている。
- (2) 社内外において活用の意図が明確で, 豊富な活用実績を有している。
- (3) 上記活動により, 具体的な効果をもたらしている (製品もしくは企業全体の環境負荷低減に著しく貢献した, 優れた経済性をもたらした, エコイノベーションを誘発するきっかけとなった, 新規技術開発にこぎつけた, 社員・地域・購買者の意識に影響を与えられた等)。

※上記のうち, 各部門に応じて, 部分的側面で特に優れているものを選ぶ場合もあれば, 総合的に評価する場合があります。

5. 審査方法

応募案件は, 日本環境効率フォーラムに設置する学識経験者等の有識者で構成する環境効率アワード 2010 表彰選考委員会において審査を行います。

<審査委員>

(敬称略)

	氏名	所属・役職
委員長	山本 良一	国際グリーン購入ネットワーク (IGPN) 会長
委員	足立 芳寛	東京大学大学院工学系研究科教授
〃	辰巳 菊子	(社)日本消費生活・アドバイザー・コンサルタント協会常任理事
〃	中嶋 道靖	関西大学商学部教授
〃	水谷 広	日本大学生物資源科学部教授
〃	村田 有	経済産業省産業技術環境局環境政策課環境調和産業推進室長

6. 応募資格

特に制限はありません。自薦・他薦を問いません。

7. 応募方法

別紙の「環境効率アワード 2010 応募申込書」に必要事項を記入の上、平成 22 年 10 月 12 日 (火) までに事務局宛 2 部送付願います。また申請書の電子ファイルを CD-R または CD-ROM 等で 1 枚を提出してください。(推薦書の電子ファイルの推薦者印は不要。)

応募の際、応募案件に関する説明資料としてパンフレットやカタログ、メディアで取り上げられた記事切り抜き等があれば添付してください。説明資料を添付する場合は、同一のものを 2 部送付願います (郵送)。

なお、応募書類は返却いたしません。

《守秘義務》

申請書類で知り得た情報については、当該表彰制度の審査以外に利用及び公開はいたしません。アワード表彰対象者公表の際は、申請書の*印「会社名」「代表者名」「活動名称」「応募部門」「ウェブアドレス (該当する場合のみ)」「応募する活動 (もしくは製品) に関する総括アピール (400 字以内)」の情報を使用します。

8. 発表・表彰

受賞者発表は 11 月上旬に発表予定です。受賞者には別途連絡します。

なお、結果発表後に受賞者に重大法令違反等が明らかとなった場合には、受賞が取り消されることがあります。

また、表彰式は、2010 年 (平成 22 年) 12 月 10 日 (金) にエコプロダクツ 2010 内にて開催を予定しています。あわせて、表彰記念セミナーを開催する予定です。

9. 過去の表彰実績

ウェブ http://www.jemai.or.jp/CACHE/eco-efficiency_details_grunge51.cfm
をご参照願います。

応募・問い合わせ先

事務局：日本環境効率フォーラム事務局

〒110-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目 2 番 1 号

社団法人産業環境管理協会 製品環境情報事業センター エコデザイン事業推進室

(担当：平田・小清水・南部)

TEL/Fax : 03-5209-7708 / 03-5209-7716

E-mail : eco-efficiency@jemai.or.jp

応募様式のダウンロード：http://www.jemai.or.jp/CACHE/eco-efficiency_details_grunge51.cfm

【表彰各部門の参考例】

*ここに挙げるのは、あくまでも一例であり、募集対象をこれらに限定するものではありません。また、このアワードのねらいとする環境効率の概念は、「環境負荷を削減しながら、経済性及び生活の質の向上に取り組む活動全般」を意味し、環境負荷削減と経済性向上を目指す活動、もしくはその両面を考慮して開発した製品・サービスを意図しています。

「製品活動部門」

製品の環境効率向上を目的とするさまざまな事業活動、組織的活動もしくは運用システムであること。

(例えば以下のような活動)

- ・ 環境効率(eco-efficiency)の概念に基づき、製品パフォーマンスに関する独自の環境効率指標を開発し、社内エコプロダクツ・エコサービス開発活動に活用している。
- ・ 主力製品の強化・新製品の導入における環境効率向上のモチベーションを高めるため、環境効率指標を開発し、業績評価システムに適用している。
- ・ 製品パフォーマンスの環境効率指標を開発し、新たな製品環境情報コミュニケーションツールとして社外に広く公開している。製品パンフレットや環境報告書等に自社の取り組みを定量的な分かりやすい説明を行うのに活用している。

「企業活動部門」

企業もしくは事業所、製造ライン全体のパフォーマンスに対しての、環境効率向上を目的とする事業活動、活用体制、組織的活動であること。

(例えば以下のような活動)

- ・ 環境効率(eco-efficiency)の概念に基づき、企業パフォーマンス(工場、事業部、生産ライン等)に関する独自の環境効率指標を開発し、社内の環境管理活動、改善活動に活用している。
- ・ 企業全体の環境効率向上を示すため、目標を設定し、公開し、利害関係者とのコミュニケーションツールとして活用している。
- ・ 「環境経営指標」「環境会計」等の実践を通じて経済性の向上と環境負荷削減を目指す活動を推進している。

「普及促進部門」

環境効率の概念一般の普及を目的とした取り組みを積極的に行っている企業、団体等の活動であること。

(例えば以下のような普及促進活動)

- ・ 工業会や地域のネットワークで、環境効率の概念を取り入れ、勉強会を開催し、情報提供を行ったり、実際に評価を行うなど、環境効率を積極的に普及している。
- ・ パンフレットやビデオを作成したり、その他メディア等のコミュニケーションツールを利用し、環境効率の普及、認知度を上げることに貢献している。

「製品パフォーマンス部門」

著しく環境効率が向上した製品・サービスであること。

(例えば以下のような製品)

- ・ 環境負荷削減と顧客ニーズを同時に実現することにより、新たなタイプの商品を開発した。
- ・ 顧客ニーズを追求して、結果として環境負荷削減にも成功した製品の開発。

「マテリアルフローコスト会計部門」

- ・ マテリアルフローコスト会計の実践を通じて、環境負荷削減と経済性の向上を目指す活動を推進している。

環境効率アワード 2010 応募申込書

応募年月日 平成 22 年 月 日

会社名、事業場名*			
会社、事業場の代表者名*			
本社所在地	〒		
会社、事業場の業務内容 (簡単に)		業種	
応募活動の名称*	「 」		
応募部門* ※該当する部門に×印を記入してください	(1) <input type="checkbox"/> 製品活動部門 (2) <input type="checkbox"/> 企業活動部門 (3) <input type="checkbox"/> 普及促進部門 (4) <input type="checkbox"/> 製品パフォーマンス部門 (5) <input type="checkbox"/> マテリアルフローコスト会計部門		
「環境効率」の取組みを把握 できるWebサイト(あれば) *	http://		
応募担当者及び 連絡先	所属部署		役 職
	氏 名		
	住 所	〒	
	電 話		F A X
	E - m a i l		

※Word 版に入力いただいた申込書は、プリントアウトしたものをその他添付資料に添付してお送りいただくとともに、ファイルをE-mailにてお送りください。送り先 (eco-efficiency@jemai.or.jp)

環境効率アワード 2010 応募申込書(詳細)

選考審査の参考とするために応募する環境効率の取組みについて以下の項目についてご記入願います。

(1)(2)(3)(5)部門共通

【応募する活動に関する総括アピール】*

応募する環境効率の取組みの概要について効果も含め、**400字以内**で総括アピールをお書き下さい。

(4)部門用

【応募する製品に関する総括アピール】*

応募する環境効率の向上した製品の概要について効果も含め、**400字以内**で総括アピールをお書き下さい。

(1)環境効率の運用について

【環境効率の運用体制について】

Q. 環境効率の運用体制について下記の質問にお答えください。該当に×および記入願います。

	設問	回答欄	(1.はいと答えた場合,具体例を40字以内で簡単に説明)
1	環境効率関連の指標を設定していますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:環境効率改善度として製品ファクターを設定)
2	環境効率の将来の達成目標を設定していますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:2010年迄にXY製品の環境効率を2倍向上)
3	環境効率推進のために社内に組織を設置していますか	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:環境効率指標検討委員会を設置している)
4	環境効率の評価にライフサイクルアセスメントを取り込んでいますか。	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	

(2)環境効率の活用実績について

【環境効率の内部活用方法について】

Q. 環境効率を社内ですどのように活用していますか？該当に×および記入願います。

	活用先	回答欄	活用事例 (1.はいと答えた場合,具体例を80字以内で簡単に説明)
1	管理ツールとして活用している 例:製品向上や工程改善をどのように行うか,ゴールをどう設定すべきかに関する意思決定のための情報(判断材料)としている	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:製品アセスメントの一項目に取込んでいる)
2	社員の教育ツールとして活用している 例:環境管理・エンジニアリング・財務部門等は,環境効率パフォーマンスの関連部署に環境効率を向上させるために何ができるかという関心を喚起させるための情報として活用している。	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:製造・開発部門の環境教育に活用している)
3	経営層へ説明材料等として活用している 例:戦略的意思決定へ環境効率の情報や他の持続可能性に関する問題を盛り込むための判断材料としている。	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:役員会の定期的報告事項に入れている)
4	業績評価(社員のインセンティブ向上)に活用している 例:業績評価を元に,事業単位の戦略策定と事業部(個人)間の資源配分,あるいはその調整を行うため,パフォーマンス目標を設定し,モニタリングの材料に用いる	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:社員が継続的に環境効率向上を意識した開発に取り組み,製品開発活動をさらに加速させるために,環境効率を業績評価システムに取込む)

【環境効率の対外的活用方法について】

Q. 環境効率についての自社の取り組みを社外の誰に対して説明するなど活用していますか？該当に×および記入願います。

	活用先	回答欄	活用事例 (1.はいと答えた場合、具体的事例を40字以内で簡単に)
1	投資家、公認会計士、株主、アナリスト、取引銀行、保険会社、国際機関等	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:金融機関等の判断基準に採用していただいている)
2	購買者・ユーザ(消費者)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:一般消費者等にも分かり易い指標を設定している)
3	取引先	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:調達基準に適用している)
4	その他(具体的に)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	

【環境効率の実績・手段について】

Q. 環境効率の取組み期間・公表手段についてお答えください。該当に×および記入願います。

	設問	回答欄
1	活動の実績は？	年より活用開始
2	環境効率の取組みの公表手段は？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1.環境報告書, <input type="checkbox"/> 2 広告・メディア(新聞・雑誌等), <input type="checkbox"/> 3.ウェブ, <input type="checkbox"/> 4. 展示会, ワークショップ等イベント, <input type="checkbox"/> 5.研究発表(学会発表, 寄稿), <input type="checkbox"/> 6. 常設展示, <input type="checkbox"/> 7.パンフレット <input type="checkbox"/> 8. 事業報告書, <input type="checkbox"/> 9.その他, <input type="checkbox"/> 10.実績なし

(3)環境効率の導入効果について

【環境効率の導入効果について】

Q. 環境効率の導入効果についておたずねします。該当に×および記入願います。

	設問	回答欄	(1.はいと答えた場合、具体例を60字以内で簡単に)
1	環境効率の導入により環境負荷の低減効果はありましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
2	環境効率の導入により経済性の向上が図られましたか？(コスト削減, 収益アップ等)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
3	環境効率の導入により, 製品機能追加, 性能アップをもたらせましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
4	革新的な技術開発(エコイノベーション)を環境効率で評価してみましたか？或いは環境効率は技術開発を促進しましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
5	環境効率の導入により, その他効果はありましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	(例:企業イメージの向上)

活動の詳細(合計 1000 字以内)

活動の詳細についてご記入願います。前項の質問に対する回答と合致するように記載願います。

1 運用	環境効率の運用・活用について、工夫をした点、アピールしたい点等についてご説明ください
2 実績	活動実績の詳細についてご説明ください
3 効果	活動成果のアピール、活動の予定、今後の抱負等を簡潔にご説明ください。

(1)環境効率の運用について

【環境効率の運用について】

Q. 環境効率の運用体制について下記の質問にお答えください。該当に×および記入願います。

	設問	回答欄	(1.はいと答えた場合,具体例を40字以内で簡単に)
1	環境効率の指標を設定していますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:環境経営ファクター〇〇〇を設定)
2	環境効率の将来の達成目標を設定していますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:2010年までに環境効率を2倍向上させる)
3	環境効率向上,普及のために社内に組織を設置していますか	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例:環境効率指標検討委員会を設置している)
4	環境効率の導入でどのような環境負荷の低減を目指しますか?(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1. CO ₂ (温暖化ガス), <input type="checkbox"/> 2. 廃棄物, <input type="checkbox"/> 3. 化学物質, <input type="checkbox"/> 4. 資源消費, <input type="checkbox"/> 5. 水	

(2)環境効率の活用実績について

【環境効率の内部活用について】

Q. 環境効率を社内でどのように活用していますか？該当に×および記入願います。

	活用先	回答欄	活用事例 (1.はいと答えた場合,具体例を80字以内で簡単に)
1	管理ツールとして活用している 例:製品向上や工程改善をどのように行うか,ゴールをどう設定すべきかに関する意思決定のための情報(判断材料)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
2	社員の教育ツールとして活用している 例:環境管理・エンジニアリング・財務部門等は,企業の環境効率パフォーマンスに関心があると想定される。環境効率を向上させるために何ができるかという関心を喚起させるための情報	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
3	経営層への説明材料等として活用している 例:戦略的意思決定へ環境効率の情報や他の持続可能性に関する問題を盛り込むための判断材料	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	

【環境効率の対外的活用について】

Q. 環境効率についての自社の取り組みを社外に説明するなど活用していますか？該当に×および記入願います。

	活用先	回答欄	活用事例 (1.はいと答えた場合,具体例を20字以内で簡単に)
1	投資家, 公認会計士, 株主, アナリスト	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 事業報告書に記載)
2	取引銀行	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 融資の際の目安の一部としていただいている)
3	保険会社	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 金融・保険商品等の目安の一部として頂いている)
4	国際機関	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 国際規格機関に環境効率指標の規格化を提案中)
5	(地域)コミュニティ	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 工場周辺住民に説明)
6	購買者・ユーザ(消費者)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 消費者説明用の簡易指標を開発)
7	取引先	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	(例: 業者登録基準に適用)
8	その他(具体的に)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	

【環境効率の取り組み期間等について】

Q. 環境効率の取組み期間・公表手段についてお答えください。該当に×および記入願います。

	設問	回答欄
1	実施の評価はいつから実施していますか？	向上度の評価 年より活用開始
2	将来の目標設定はいつから実施していますか？	目標の設定 年より開始
3	環境効率の取組みの公表手段は？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1. 環境報告書, <input type="checkbox"/> 2. 広告・メディア(新聞・雑誌等), <input type="checkbox"/> 3. ウェブ, <input type="checkbox"/> 4. 展示会, ワークショップ等イベント, <input type="checkbox"/> 5. 研究発表(学会発表, 寄稿), <input type="checkbox"/> 6. 常設展示, <input type="checkbox"/> 7. パンフレット <input type="checkbox"/> 8. 事業報告書 <input type="checkbox"/> 9. その他, <input type="checkbox"/> 10. 実績なし

(3) 環境効率の導入効果について

【環境効率の導入効果について】

Q. 環境効率の導入効果についておたずねします。該当に×および記入願います。

	設問	回答欄	(1.はいと答えた場合,具体例を60字以内で簡単に)
1	環境効率の導入により環境負荷の低減効果はありましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
2	環境効率の導入により経済性の向上が図られましたか？(コスト削減, 収益アップ等)	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
3	環境効率の導入により, その他効果がありましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	(例: 企業イメージ向上)

活動の詳細(合計 1000 字以内)

活動の詳細についてご記入願います。前項の質問に対する回答と合致するように記載願います。

1 運用	環境効率の運用・活用について、工夫をした点、アピールしたい点等についてご説明ください
2 実績	活動実績の詳細についてご説明ください
3 効果	活動成果のアピール、活動の予定、今後の抱負等を簡潔にご説明ください。

(3)「普及促進部門」(1/2)

(1) 普及促進の体制について

該当に×および記入願います。

	設問	回答欄	(はいの答えの場合、事例を 50 字以内に)
1.	誰に対して普及活動を行っていますか？(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1. 投資家, 公認会計士, 株主, アナリスト, 取引銀行, 保険会社等金融機関, <input type="checkbox"/> 2. 国際機関等, <input type="checkbox"/> 3. (地域)コミュニティ(住民), <input type="checkbox"/> 4. 購買者・ユーザ(消費者), <input type="checkbox"/> 5. 同業もしくは地域の連携(工業会, 商工会議所, 地元企業連絡会他), <input type="checkbox"/> 6. 教育関連(学校等), <input type="checkbox"/> 7. 小売店, <input type="checkbox"/> 8. NGO・NPO 等, <input type="checkbox"/> 9. その他	
2	普及促進専門の担当(もしくは部署)を置いていますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
3	環境効率向上, 普及のために組織を設置していますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい(社内) <input type="checkbox"/> 2. はい(社外) <input type="checkbox"/> 3. はい(両方) <input type="checkbox"/> 4. いいえ	(例: 普及検討委員会設置)
4	普及促進のための媒体を整備していますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい(独自品) <input type="checkbox"/> 2. はい(社外制作既存品) <input type="checkbox"/> 3. はい(両方) <input type="checkbox"/> 4. はい(その他) <input type="checkbox"/> 5. いいえ	(例: 環境効率のビデオ作成)

(2) 環境効率の普及実績について

該当に×および記入願います。

	設問	回答欄
1	普及活動はいつから実施していますか？	年から
2	普及活動の PR 手段は？(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1. 環境報告書, <input type="checkbox"/> 2. 広告・メディア(新聞・雑誌等), <input type="checkbox"/> 3. ウェブ, <input type="checkbox"/> 4. TV・ラジオ等メディア, <input type="checkbox"/> 5. 展示会, ワークショップ等イベント, <input type="checkbox"/> 6. 常設展示, <input type="checkbox"/> 7. パンフレット, <input type="checkbox"/> 8. 営業活動に活用, <input type="checkbox"/> 9. ガイドライン作成, <input type="checkbox"/> 10. その他 1(具体的に), <input type="checkbox"/> 11. その他2(具体的に), <input type="checkbox"/> 12. 実績なし

(3) 普及促進活動の効果について

該当に×および記入願います。

	設問	回答欄	(1.はいと答えた場合、具体例を 60 字以内で簡単に)
1	環境効率の普及促進活動により普及対象者の理解が進みましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
2	環境効率の普及促進活動により, 自ら指標を開発するなどの活用が促進されましたか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	
3	今後も普及促進活動を継続してほしいという要望はありますか？	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ <input type="checkbox"/> 3. わからない	

活動の詳細(合計 1000 字以内)

活動の詳細についてご記入願います。前項の質問に対する回答と合致するように記載願います。

1 普及 体制	環境効率の普及促進活動の展開について、工夫した点、アピールしたい点等についてご説明ください
2 実績	活動実績の詳細についてご説明ください
3 効果	活動成果のアピール、活動の予定、今後の抱負等を簡潔にご説明ください。

(4)「製品パフォーマンス部門」(1/2)

1. 貴社の「環境効率の良い製品」(またはサービス)の名称

--

2. 貴社の「環境効率の良い製品」(またはサービス)の概要と、その特長(革新的な点)を説明して下さい。

--

◇カラー写真もしくはパンフレット

* 応募製品・サービスの内容・仕組みが分かるものを付けて下さい。

◇商品紹介記事, 他の表彰などの書類

* 応募製品・サービスのシステム・仕組みについて説明した資料や新聞・雑誌などの紹介記事, ビデオ, DVD, あるいは第三者機関などによる認定書, 証明書などがあれば同封して下さい(コピー可)。関連する URL アドレスをご記入下さい。また, これまでに他の表彰を受けたことがあればその内容も明記して下さい。関連する URL アドレスをご記入下さい。

3. 環境効率の向上で, どの項目で, どのような改善が達成されましたか。

(1)環境側面

貴社の製品(またはサービス)を生産・使用することによって, 環境影響が従来よりどの程度軽減しましたか。下表に記入して下さい。「ある項目で, 50%以上の削減を達成していること」を基準とします。設問4. の比較対象(リファレンス)用に設定した製品と, 応募製品と比較した結果を記入して下さい。

環境への影響がどれだけ軽減されたか(基準製品・基準サービスとの比較)に関する説明 (例: エネルギー消費, 耐用年数, 原材料消費, 水消費, 廃棄物, 汚染物質等)	削減率(概算値)

* 足りなければ, 別添も可

(2) 経済的側面

貴社の製品・サービスの(1)環境面以外での特長等を説明して下さい。

項目 例: 収益性(競争力のある価格, 新しい市場, 組織改革[ネットワーク構築, マーケティング等], 多面性, 売上増大など, 社会的影響(労働市場への影響, 従業員の士気高揚, 取引拡大, 従業員の経営参加, 機会の均等, 公正な取引など)の向上, その他(安全, 利便性, ユーザーの利益, 好ましいイメージ, 魅力など)	改善効果(具体的に) (定量的評価が可能であればその数値も記入, 例: ○○50%アップなど)

4. 貴社の製品の環境効果を判定する際に、比較対象(リファレンス)に用いた製品名を具体的に記述して下さい。

具体的な製品名

その他(現時点では、その製品と同様の製品は存在しません。全くの新型製品です。)

5. その製品(またはサービス)には、どのようなリスクが伴いますか。

6. その製品には、有害物質が含まれていますか。または、生産工程で有害物質を使用していますか。

いいえ

はい 下の欄に具体的に記入して下さい

はいの場合:

7. その製品(またはサービス)の市場占有率はどの程度ですか。貴社の売上高向上にどの程度寄与しましたか。

(5)「マテリアルフローコスト会計部門」(1/1)

活動の詳細について、お答えください。

1 運用	マテリアルフローコスト会計(MFCA)の運用時期, 運用の範囲・規模及び継続性などマネジメントでの位置づけ
2 実績	分析結果・および MFCA で発見されたロスの改善活動
3 効果	MFCA で発見されたロスの改善成果
4 補足	必要に応じて、活動内容を分かりやすく説明する資料を添付ください。